

2025年3月期 第2四半期 連結決算の概要



株式会社有沢製作所

2024年11月7日

目次

- 2025年3月期 第2四半期 連結決算
- 2025年3月期 業績予想
- 参考資料

(百万円)

	'24/3期 上期 実績	'25/3期 上期 8/8予想	'25/3期 上期 実績	前期比	8/8 予想比
売上高	19,895	24,300	25,172	26.5%	3.6%
営業利益	169	1,900	2,734	16.1倍	43.9%
営業利益率	0.9%	7.8%	10.9%	--	--
経常利益	218	2,100	2,917	13.4倍	38.9%
純利益	563	1,500	2,122	3.8倍	41.5%
一株利益 (円)	17.02	45.21*	63.91	3.8倍	41.4%
配当金 (円)	20.00	42.00	42.00	--	--
為替レート (円/\$) 平均	135.00	152.36	152.36	--	--
期末	149.58	150.00	142.73	--	--

* 6月30日現在の発行済株式数で試算

前期比

- ・連結売上高は、電子材料、産業用構造材料およびディスプレイ材料が増加し、52億77百万円（前期比26.5%）の増収。
- ・営業利益は、売上高の増加とそれに伴う操業度向上により同16.1倍の増益。
- ・経常利益は、同13.4倍の増益。
- ・当期純利益は、前期に比べ有価証券売却益が減少し、同3.8倍の増益。

8/8予想比

- ・売上高は、電子材料およびディスプレイ材料が増加し8億72百万円（予想比3.6%）の増収。
- ・営業利益は、売上高の増加に伴い同43.9%の増益。
- ・経常利益は同38.9%の増益、当期純利益は同41.5%の増益。

損益計算書



(百万円)

	24.3月期 上期実績	25.3月期 上期予想 (8/8)	25.3月期 上期実績	前期比 増減	
売上高	19,895	24,300	25,172	+5,277	電子材料、ディスプレイ材料の増収による
売上総利益	2,897		6,190		
販売費及び一般管理費	2,727		3,456		
営業利益	169	1,900	2,734	+2,565	増収、製品ミックスの良化による
為替差損益	80	90	94		前期に計上していた持分法投資損失などがなくなったことによる
その他営業外損益	-31	110	89		
経常利益	218	2,100	2,917	+2,699	
有価証券売却益	656		0		
その他特別損益	-19		9		
税引前利益	855	2,100	2,926	+2,071	
法人税等他	292		804		前期の赤字会社が黒字転換し、税負担率が低下したことにより税率が低下
親会社に帰属する四半期純利益	563	1,500	2,122	+1,559	

貸借対照表



(百万円)

	'24.3月	'24.9月	増減	
(資産の部)				
流動資産	47,097	50,492	3,395	売掛債権 +1,001 棚卸資産 +2,118
有形固定資産、無形固定資産	18,345	19,546	1,201	設備投資による
投資有価証券	2,327	2,319	-8	
その他の資産	1,047	1,197	150	
資産合計	68,816	73,555	4,739	
(負債の部)				
流動負債	19,422	20,531	1,109	買掛債務 +1,410 短期借入金 -1,626
固定負債	3,147	4,507	1,360	長期借入金 +1,264
負債合計	22,570	25,039	2,469	
株主資本	42,867	43,815	948	利益剰余金 +792
その他包括利益合計、新株予約権	3,379	4,701	1,322	為替換算調整勘定 +1,305
負債純資産合計	68,816	73,555	4,739	

2025年3月期 上期の前期比増減分析

	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	'24/3期 上期 実績	'25/3期 上期 実績	増減	'24/3期 上期 実績	'25/3期 上期 実績	増減
電子材料	11,726	15,229	3,503	-210	1,296	1,506
FPC用材料 (有沢製作所)	6,725	8,818	2,093			
FPC用材料 (ThinFlex)	3,408	4,566	1,158			
ICGC、プリプレグ	740	952	212			
プリント配線板 (サトーセン)	853	893	40			
産業用構造材料	5,101	6,026	925	572	1,182	610
ハニカムパネル	913	769	-144			
水処理用FRP製圧力容器	3,128	3,990	862			
その他	1,060	1,267	207			
電気絶縁材料	1,233	1,180	-53	114	33	-81
ディスプレイ材料	1,677	2,545	868	420	921	501
関連商品・その他	158	192	34	99	114	15
合計	19,895	25,172	5,277	995	3,546	2,551
			全社費用	-826	-812	
			営業利益	169	2,734	2,565

- ・連結売上高は、電子材料、産業用構造材料およびディスプレイ材料が増加し、52億77百万円（前期比26.5%）の増収。
- ・営業利益は、売上高の増加と操業度向上により同16.1倍の増益。
- ・電子材料の売上高は、スマートフォンに加え半導体の需要が回復し同29.9%の増収。
- ・産業用構造材料は、水処理需要が好調に推移し同18.1%の増収。
- ・ディスプレイ材料は、3D関連材料および偏光利用部材が伸長し同51.7%の増収。



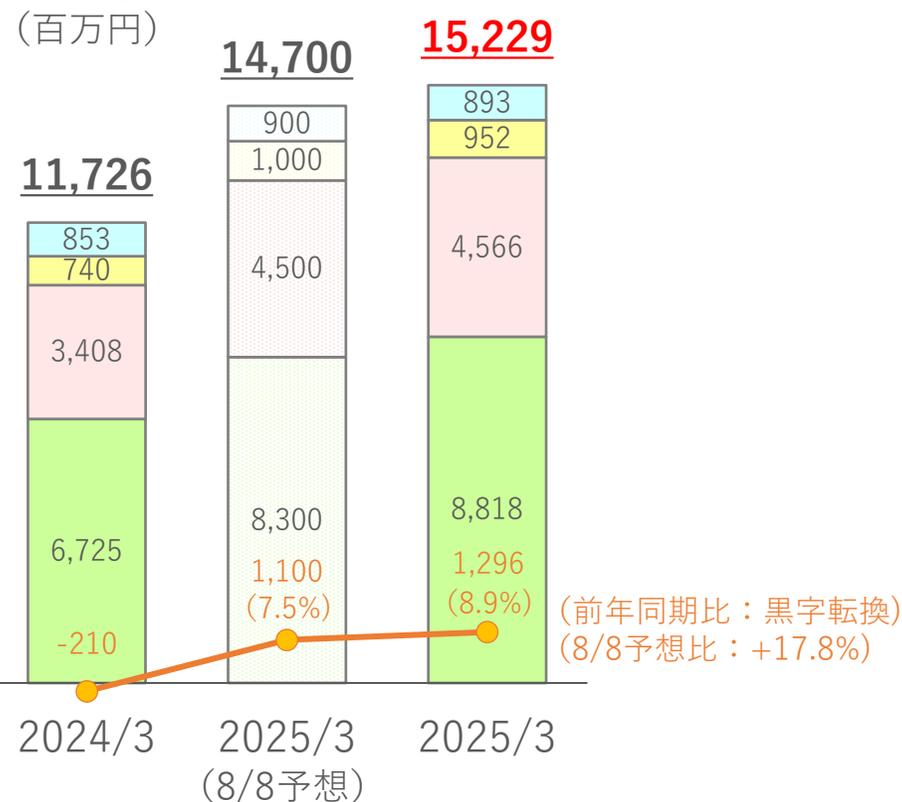
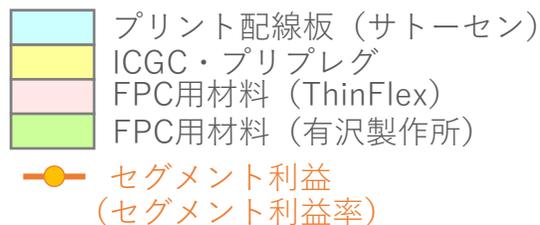
ARISAWA

2025年3月期 上期の8月8日予想との増減分析

	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	'25/3期 上期 8/8予想	'25/3期 上期 実績	増減	'25/3期 上期 8/8予想	'25/3期 上期 実績	増減
電子材料	14,700	15,229	529	1,100	1,296	196
FPC用材料 (有沢製作所)	8,300	8,818	518			
FPC用材料 (ThinFlex)	4,500	4,566	66			
ICGC、プリプレグ	1,000	952	-48			
プリント配線板 (サトーセン)	900	893	-7			
産業用構造材料	6,000	6,026	26	950	1,182	232
ハニカムパネル	800	769	-31			
水処理用FRP製圧力容器	4,000	3,990	-10			
その他	1,200	1,267	67			
電気絶縁材料	1,100	1,180	80	50	33	-17
ディスプレイ材料	2,300	2,545	245	600	921	321
関連商品・その他	200	192	-8	100	114	14
合計	24,300	25,172	872	2,800	3,546	746
			全社費用	-900	-812	
			営業利益	1,900	2,734	834

- 売上高は、主に電子材料が増加し8億72百万円（予想比3.6%）の増収。
- 営業利益は、売上高の増加に加え製品ミックス良化などにより、8億34百万円（同43.9%）増加。
- 電子材料の売上高は、FPC材料(特に有沢製作所)が予想を上回った。
- 産業用構造材料の売上高は、ほぼ予想通りに推移した。
- ディ스플레이材料は、3D関連材料および偏光利用部材ともに堅調に推移した。

電子材料 売上高



市場

- ・2022年下期より顕在化した、スマートフォンや半導体の需要停滞は底を打ち、徐々に回復基調にある。

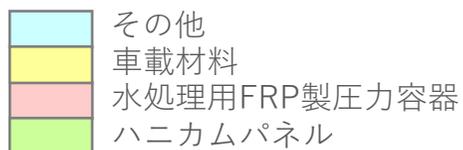
業績 .. 前期比

- ・FPC用材料、ICGC・プリプレグが増加し、35億3百万円（前期比 30.4%）の増収。
 - ・FPC用材料(有沢製作所)は、スマートフォンおよび半導体用途の需要回復により、同31.1%増収。
 - ・FPC用材料(ThinFlex)は、中華系スマートフォンの需要回復により、同34.0%増収。
 - ・ICGC・プリプレグは、同28.6%増収。
 - ・プリント配線板は、同4.6%増収。
- ・売上高の増加と操業度向上によりセグメント利益は同15億6百万円の増益。

業績 .. 8/8予想比

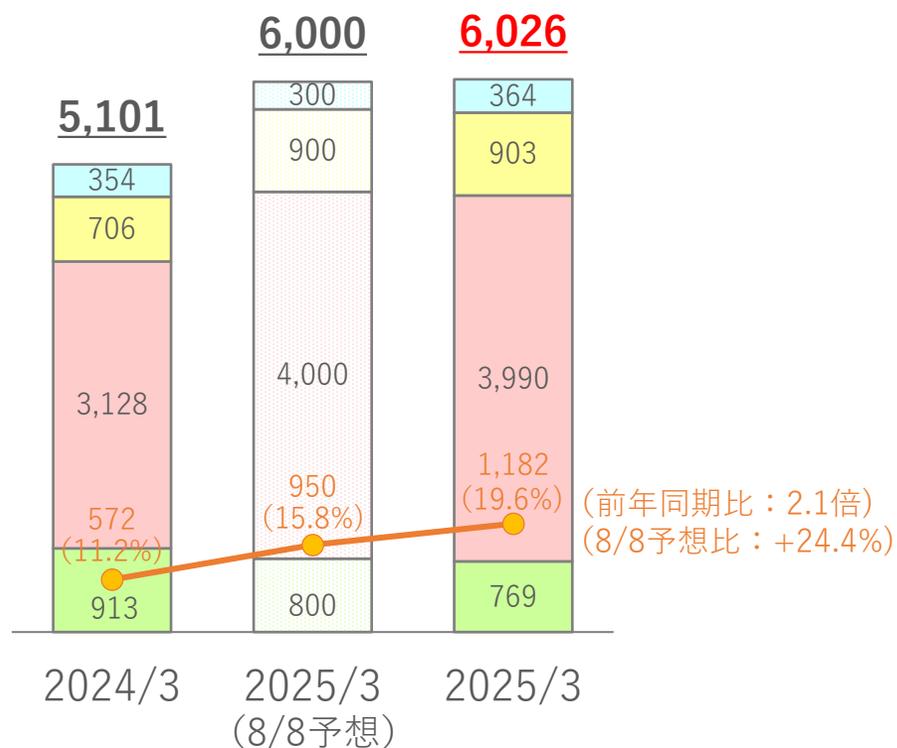
- ・FPC材料（有沢製作所）の売上高が予想を上回り5億29百万円（予想比 3.6%）の増収。
- ・セグメント利益は同1億96百万円増加。

産業用構造材料 売上高



● セグメント利益
(セグメント利益率)

(百万円)



市場

- 世界的な水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が好調に推移。
また、環境負荷低減に向けた新エネルギーの開発も活発化しており、当社においても開発案件が増えている。

業績 ・前期比

- 航空機内装用ハニカムパネルは前期比15.7%減収。
- 水処理用FRP製圧力容器は前期に引き続き好調を維持。為替の影響などもあり同27.6%増収。
- 車載材料は、27.9%増収。
- 主に水処理用FRP製圧力容器の増収により、セグメント利益は同6億10百万円の増益。

業績 ・8/8予想比

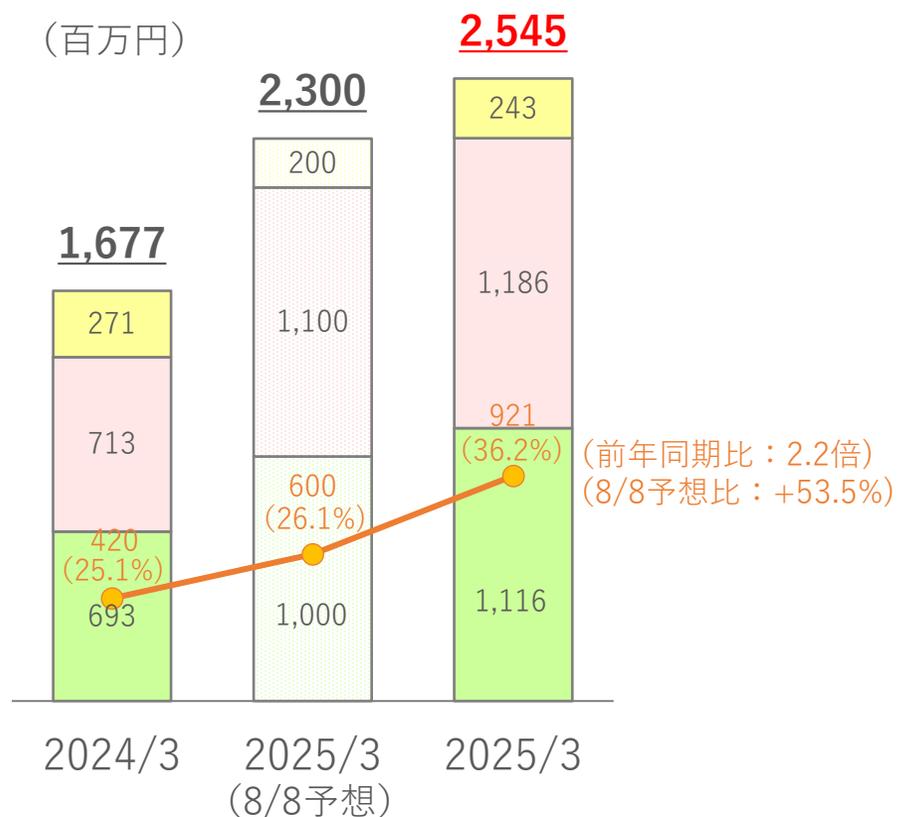
- 売上高は、ほぼ予想通りに推移。
- セグメント利益は、スポット受注により予想比2億32百万円の増益。

2025年3月期 上期の概況 ..ディスプレイ材料

ディスプレイ材料 売上高



(百万円)



市場

- ・3D関連材料は、医療用モニター向けの受注が活発であった。医療用途以外への展開を図るため、産業分野の開拓を進めている。
- ・AR、VR関連で、偏光利用部材の需要が拡大している。

業績 ..前期比

- ・3D関連材料は、受注の前倒し、為替の影響などにより前期比61.0%増収。
- ・偏光利用部材は、為替の影響もあり同66.4%増収。
- ・増収により、セグメント利益は同5億1百万円の増益。

業績 ..8/8予想比

- ・売上高は、予想比2億45百万円の増収。
- ・セグメント利益は、製品ミックスの良化と在庫の増加により同3億21百万円の増益。

目次

- 2025年3月期 第2四半期 連結決算
- 2025年3月期 業績予想
- 参考資料

(百万円)

	'24/3期 通期 実績	'25/3期 通期 8/8予想	'25/3期 通期 11/7予想	前期比	8/8 予想比
売上高	42,114	48,900	49,200	16.8%	0.6%
営業利益	1,483	3,200	4,200	2.8倍	31.3%
営業利益率	3.5%	6.5%	8.5%		
経常利益	1,488	3,300	4,300	2.9倍	30.3%
純利益	1,639	2,400	3,200	95.1%	33.3%
一株利益 (円)	49.51	72.33*	96.11**	94.1%	32.9%
配当金 (円)	合計 60.00	合計 84.00	合計 84.00	--	--
為替レート (円/\$) 平均	140.67	152.00	150.00	--	--
期末	151.41	143.00	142.50	--	--

* 6月30日現在の発行済株式数で試算

** 9月30日現在の発行済株式数で試算

前期比

- ・連結売上高は、電子材料・産業用構造材料・ディスプレイ材料が増加し、70億86百万円（前期比16.8%）の増収。
- ・営業利益は、売上高の増加に伴い27億17百万円（同2.8倍）の増益。
- ・経常利益は、同2.9倍の増益。
- ・当期純利益は、前期に比べ有価証券売却益が減少し、同95.1%の増益。

8/8予想比

- ・売上高は、電子材料・ディスプレイ材料が増加し、3億円（予想比0.6%）の増収。
- ・営業利益は、売上高の増加に伴い同31.3%の増益。
- ・経常利益は同30.3%の増益、当期純利益は同33.3%の増益。

2025年3月期 通期予想の前期比増減分析

	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	'24/3期 実績	'25/3期 11/7予想	増減	'24/3期 実績	'25/3期 11/7予想	増減
電子材料	25,105	30,700	5,595	260	2,300	2,040
FPC用材料 (有沢製作所)	13,814	17,000	3,186			
FPC用材料 (ThinFlex)	7,852	9,800	1,948			
ICGC、プリプレグ	1,741	2,100	359			
プリント配線板 (サトーセン)	1,698	1,800	102			
産業用構造材料	10,602	10,600	-2	1,476	1,750	274
ハニカムパネル	1,818	1,000	-818			
水処理用FRP製圧力容器	6,044	7,400	1,356			
その他	2,740	2,200	-540			
電気絶縁材料	2,533	2,400	-133	315	50	-265
ディスプレイ材料	3,535	5,100	1,565	940	1,600	660
関連商品・その他	339	400	61	199	200	1
合計	42,114	49,200	7,086	3,190	5,900	2,710
			全社費用	-1,707	-1,700	7
			営業利益	1,483	4,200	2,717

市場予想

- ・スマートフォンや半導体の需要が堅調に推移する。
- ・水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が好調に推移する。
- ・ハニカムパネルは、下期以降軟調に推移する。
- ・医療用モニター、偏光利用部材の需要が好調に推移する。

業績予想 (前期比)

- ・主に電子材料、ディスプレイ材料の売上増により、売上高は70億86百万円 (前期比16.8%) の増収を見込む。
- ・営業利益は、売上高の増加に伴い27億17百万円 (同2.8倍) の増益を見込む。

2025年3月期 通期予想の予想比増減分析



	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	'25/3期 8/8予想	'25/3期 11/7予想	増減	'25/3期 8/8予想	'25/3期 11/7予想	増減
電子材料	29,800	30,700	900	2,000	2,300	300
FPC用材料 (有沢製作所)	15,700	17,000	1,300			
FPC用材料 (ThinFlex)	9,900	9,800	-100			
ICGC、プリプレグ	2,300	2,100	-200			
プリント配線板 (サトーセン)	1,900	1,800	-100			
産業用構造材料	12,000	10,600	-1,400	1,800	1,750	-50
ハニカムパネル	1,800	1,000	-800			
水処理用FRP製圧力容器	7,300	7,400	100			
その他	2,900	2,200	-700			
電気絶縁材料	2,400	2,400	0	120	50	-70
ディスプレイ材料	4,300	5,100	800	900	1,600	700
関連商品・その他	400	400	0	180	200	20
合計	48,900	49,200	300	5,000	5,900	900
			全社費用	-1,800	-1,700	100
			営業利益	3,200	4,200	1,000

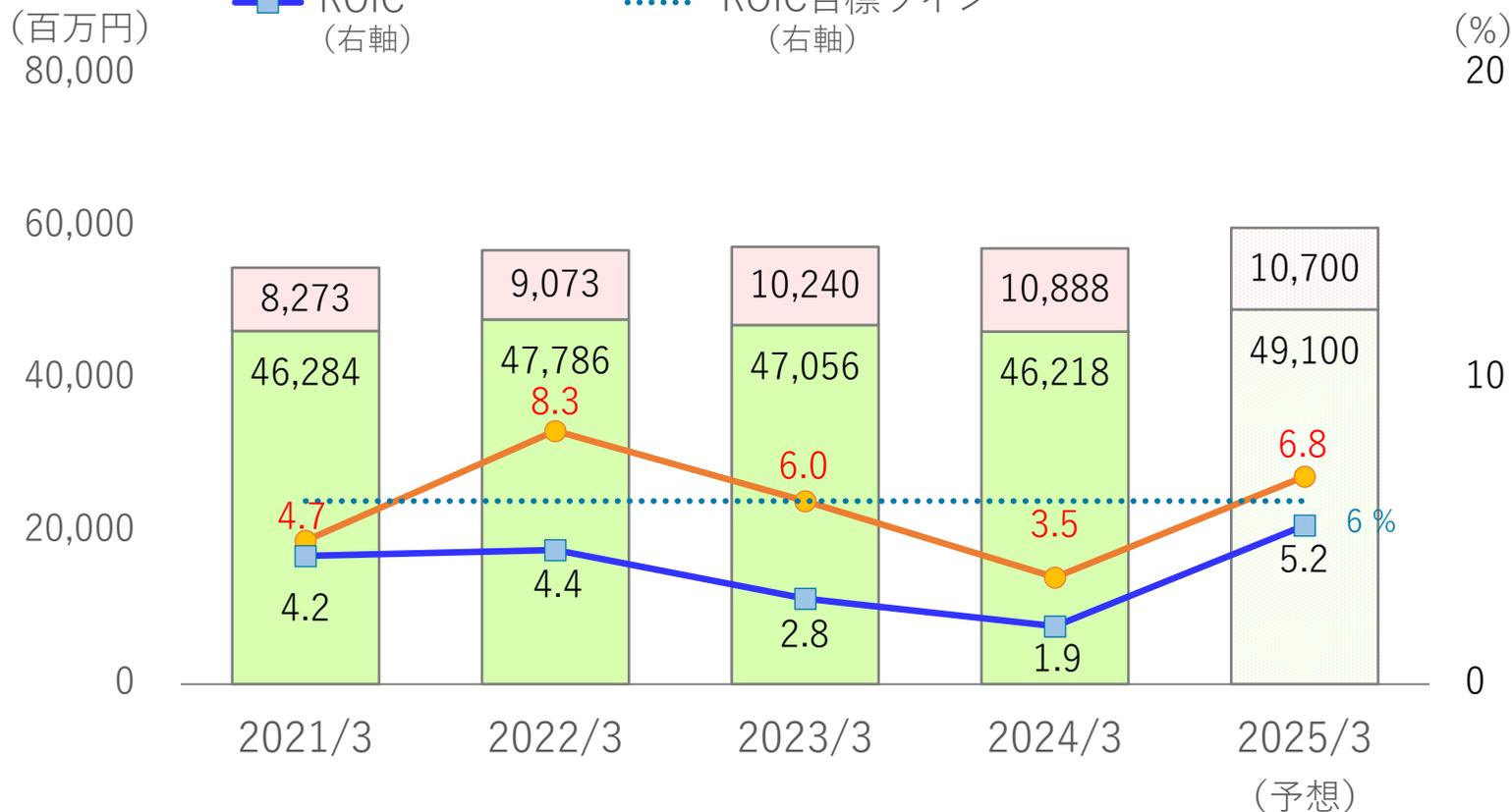
業績予想 (予想比)

- 電子材料とディスプレイ材料は上期の好調が持続する見通しである一方、産業用構造材料はハニカムパネルとその他に含まれる車載用材料の減収を見込む。
- この結果、売上高は3億円（予想比0.6%）の増収、営業利益は10億円（同31.3%）の増益を見込む。
- 電子材料は、スマートフォンや半導体向けの売上増加で9億円（同3.0%）の増収を見込む。
- 産業用構造材料は、14億円（同11.7%）の減収を見込む。
- ディスプレイ材料は、3D関連材料などの売上増加と偏光利用部材のスポット受注による売上増加で8億円（同18.6%）の増収を見込む。

ROE・ROICの推移

ROE = 当期純利益 / 自己資本

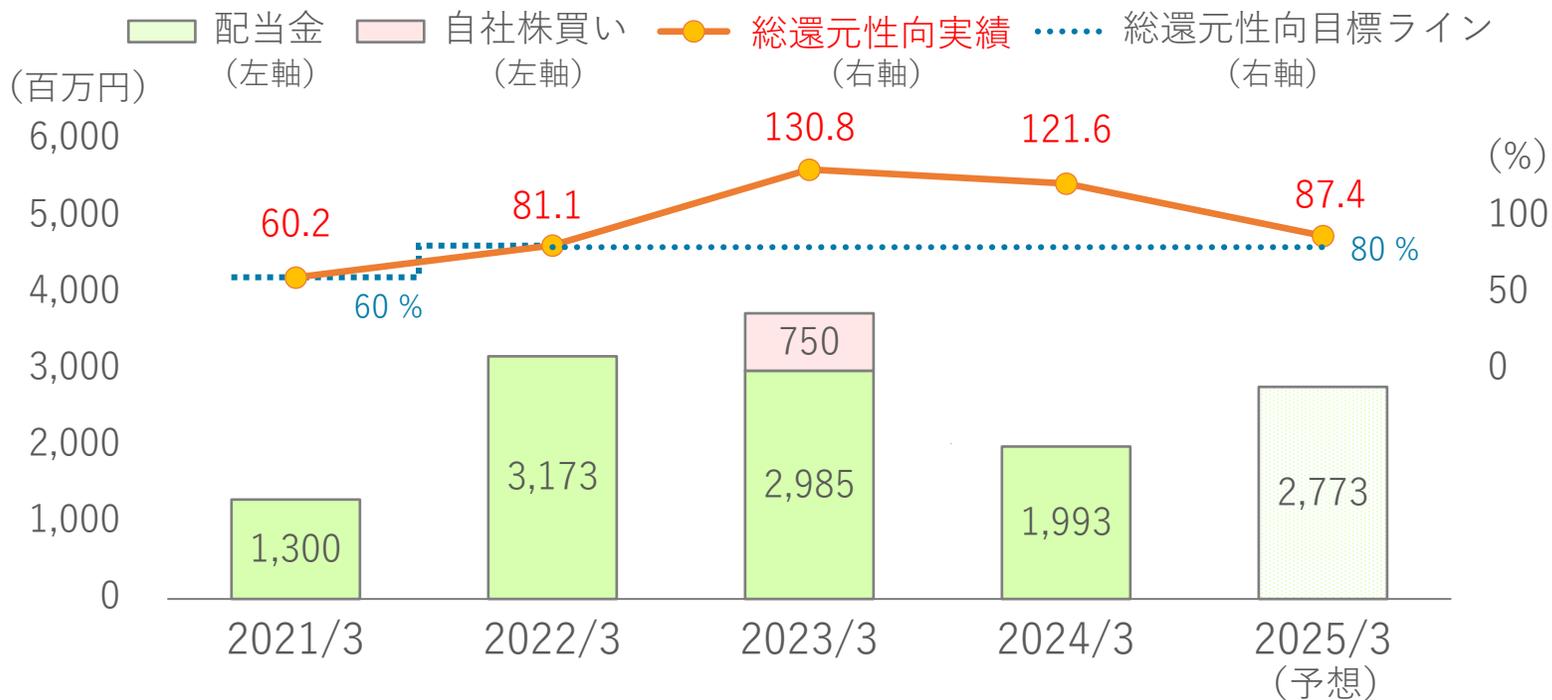
ROIC = 税引き後営業利益 / (自己資本 + 有利子負債)



- '25/3期のROICは、営業利益の増加により5.2%を見込む。
('24/3期の営業利益は1,483百万円
'25/3期は4,200百万円と2.8倍の見込み)

* 自己資本は、純資産合計から株式引受権、新株予約権および非支配株主持分を除いている

■ 配当金・総還元性向の推移



株主還元方針 (2024年4月10日発表)

- ・ 24/3期までは「総還元性向 80%以上」と掲げ、積極的な株主還元を実施。
- ・ 上記方針では、配当金は景況変化の影響を敏感に受け株主還元としては不安定。
- ・ 25/3期より安定性を志向した指標である「株主資本配当率 (DOE) 6%」と「総還元性向 80%以上」のいずれか高い方を株主還元とする。(適用期間：自己資本比率 50%程度を達成できる時期まで)

	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
株価 (円/株) *	1,000	957	1,254	1,137	—
配当金 (円/株)	39	95	90	60	合計 84 (予想)
配当利回り (%)	3.9	9.9	7.2	5.3	—

* 各年度末の終値

目次

- 2025年3月期 第2四半期 連結決算
- 2025年3月期 業績予想
- 参考資料

■ 会社別 上期業績（前期比・予想比）



ARISAWA

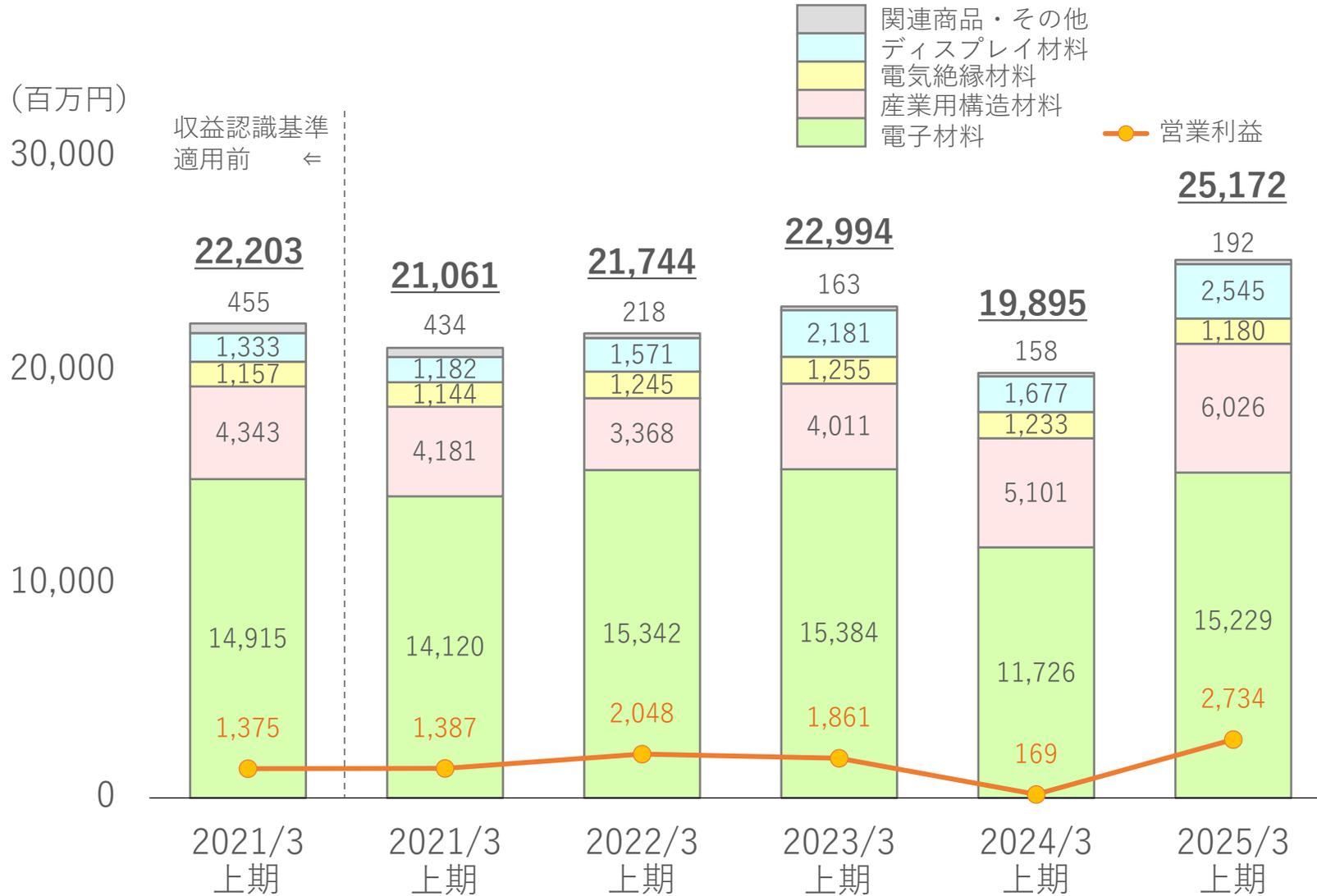
(百万円)

	売上高					営業利益				
	'24/3期 上期 実績	'25/3期 上期 予想 (8/8)	'25/3期 上期 実績	増減		'24/3期 上期 実績	'25/3期 上期 予想 (8/8)	'25/3期 上期 実績	増減	
				対前期	対予想				対前期	対予想
単体										
有沢製作所	12,627	14,800	15,765	3,138	965	198	900	1,507	1,309	607
連結会社										
シンフレックス	3,578	5,400	5,423	1,845	23	-426	100	99	525	-1
サトーセン	854	900	894	40	-6	0	20	41	41	21
アリサワファイバークラス	805	1,150	1,068	263	-82	-121	0	27	148	27
プロテック	3,061	3,900	3,880	819	-20	424	700	729	305	29
有沢総業	866	950	934	68	-16	62	40	54	-8	14
有沢樹脂工業	147	100	126	-21	26	21	0	2	-19	2
カラーリンク・ジャパン	714	1,100	1,186	472	86	15	140	204	189	64
(連結消去額)	-2,757	-4,000	-4,104			-4	0	71		
合計	19,895	24,300	25,172	5,277	872	169	1,900	2,734	2,565	834



ARISAWA

■ 年度別／分野別の上期業績推移（売上高・営業利益）

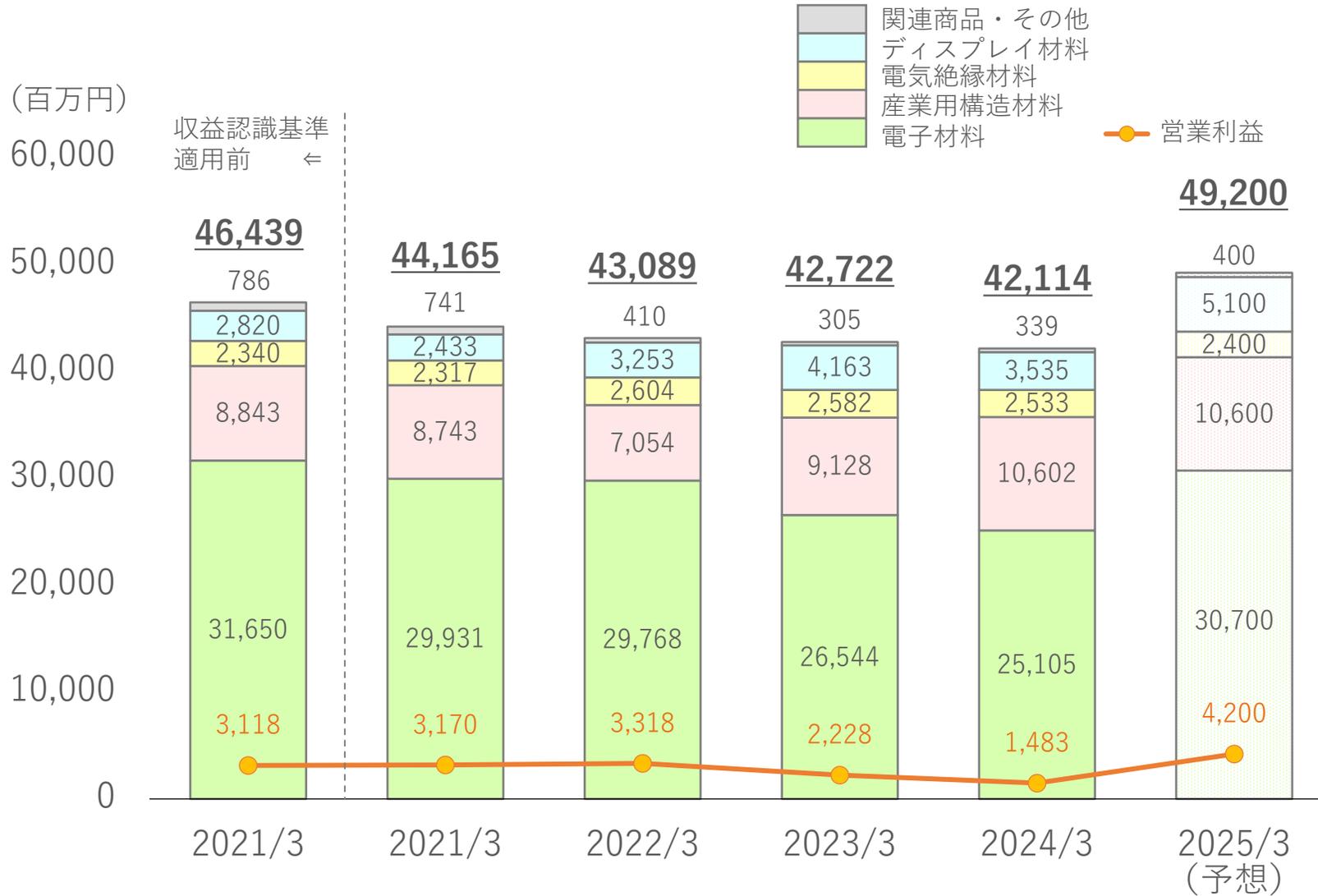


'22/3期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）



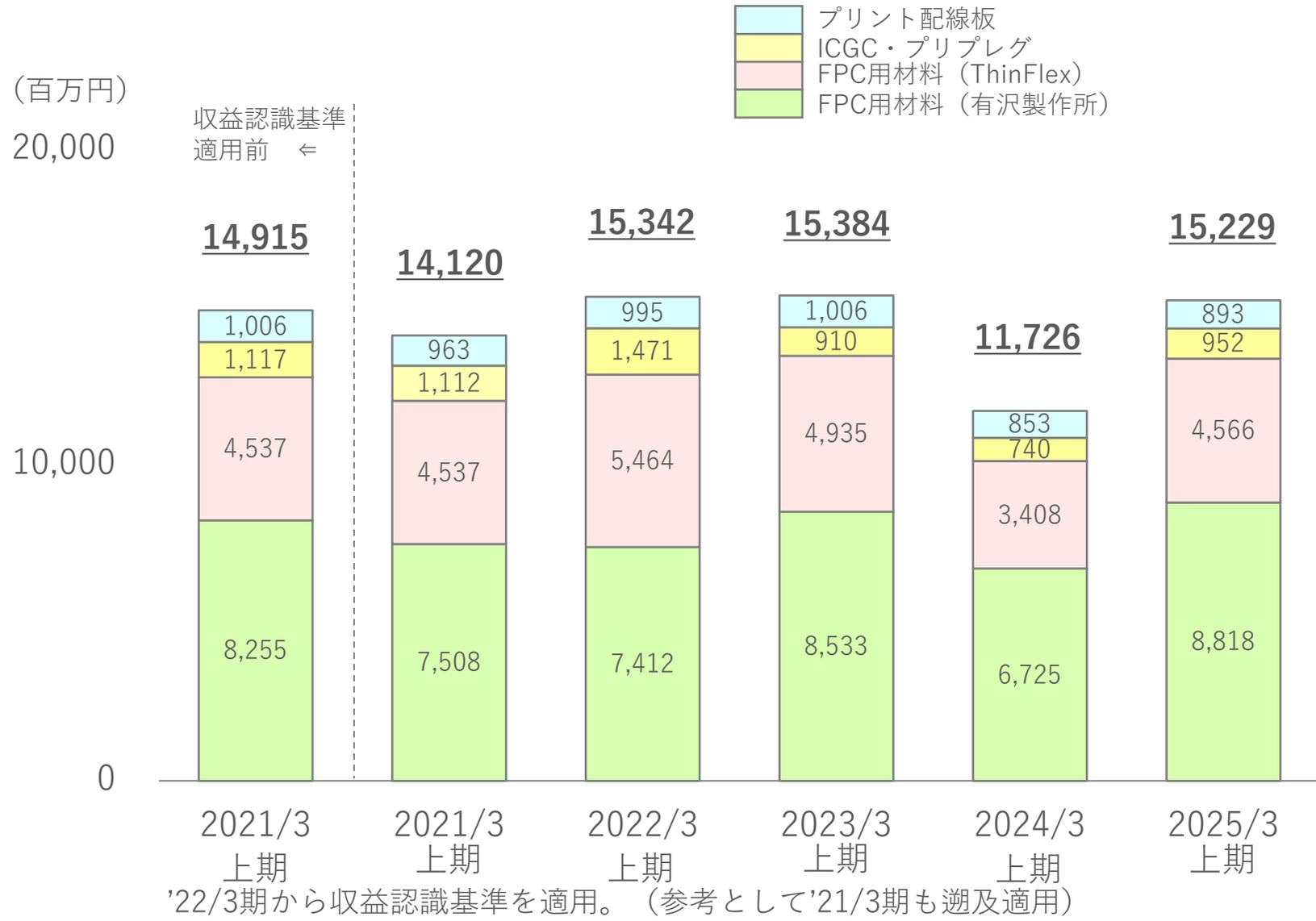
ARISAWA

■ 年度別／分野別の業績推移（売上高・営業利益）

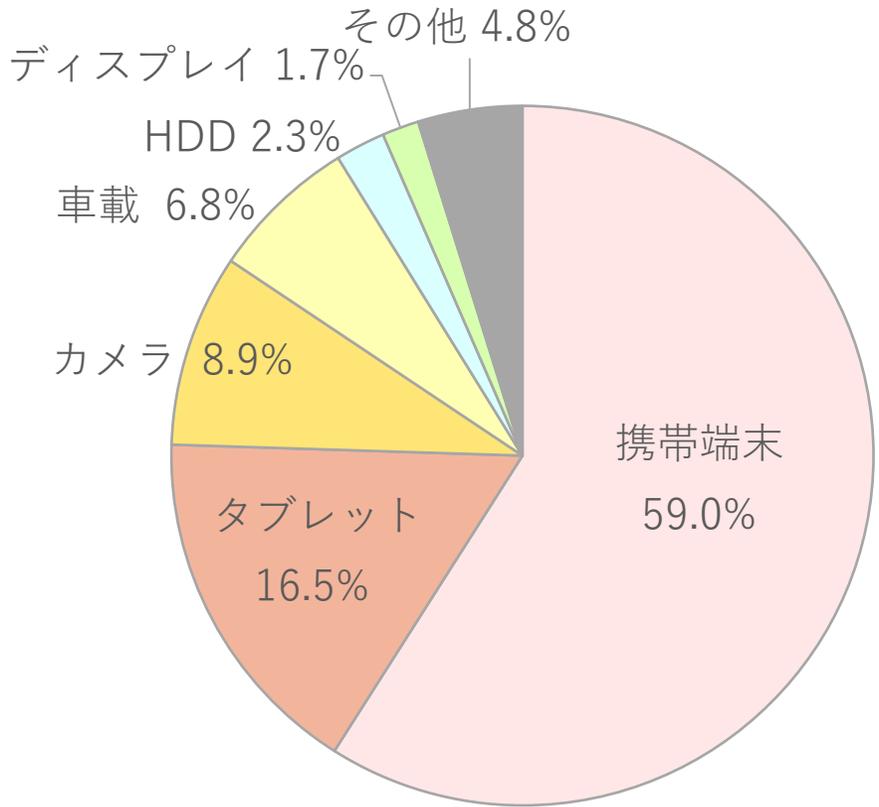


'22/3期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）

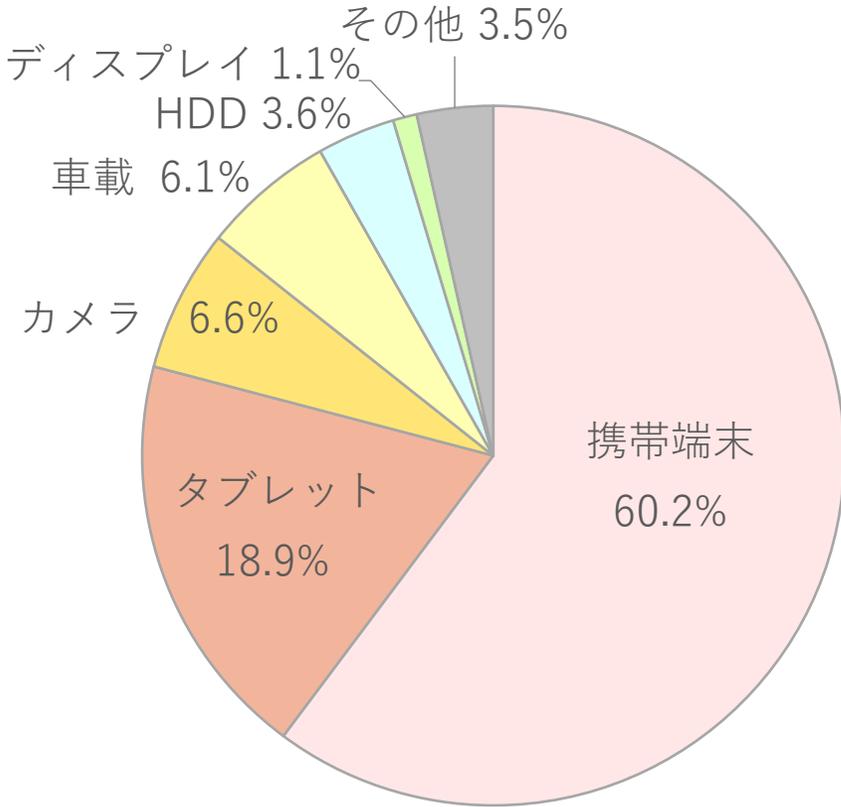
■ 電子材料の上期売上高推移



2024年3月期 上期

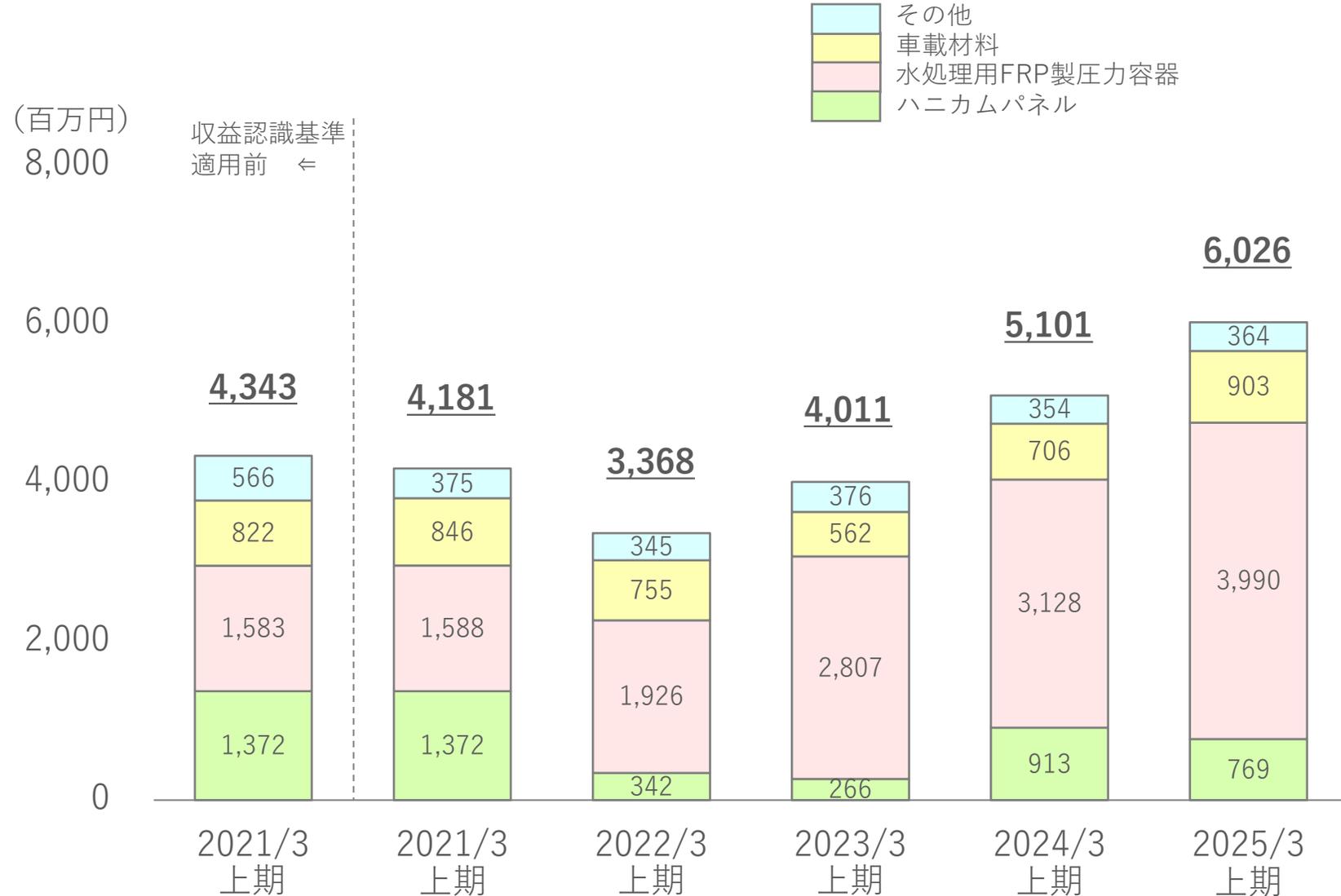


2025年3月期 上期



数量ベース
出所：当社推定

産業用構造材料の上期売上高推移



'22/3月期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）

■ 新製品売上高の推移（単体：月次決算ベース）

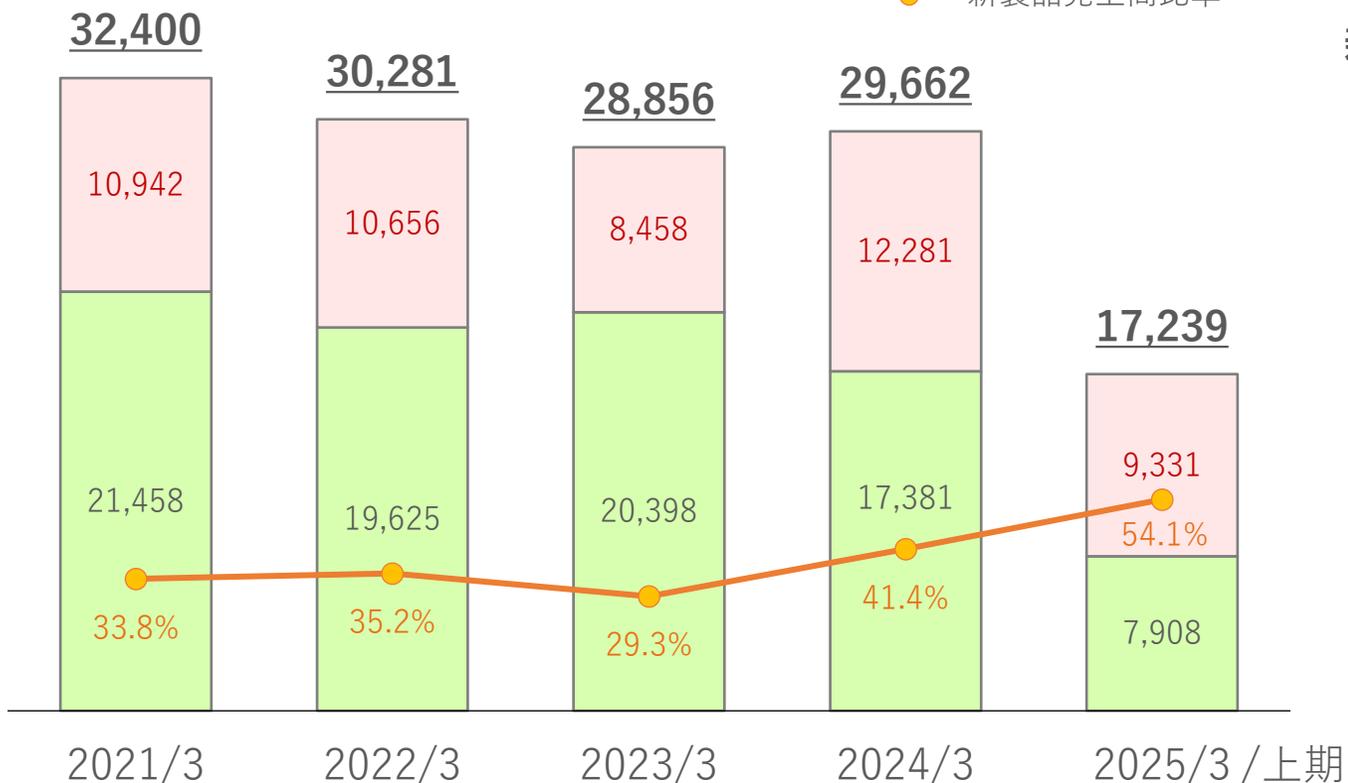
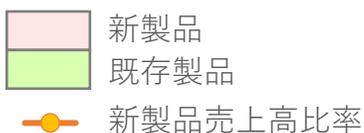
売上高（百万円）

新製品売上高比率（%）

= 新製品売上高 / 売上高

差異化製品・応用製品 + 環境配慮製品の開発により収益力強化

目標値：新製品売上高比率**50%以上**



新製品の分類と要件

- P (Pure)** (新規材料・配合・効果、新規加工方法)
(特許出願またはそれに相当する内容)
- T (Technical)** (大幅な工程改善・生産性向上、
材料・配合の切り替え・改良)
- S (Sales)** (用途展開、モデルチェンジ)
- E (Eco)** (CO₂削減効果のある材料・加工方法の
採用や用途、顧客工程でのCO₂削減)
…'23/3期より採用
- E-C (E-CO₂)** (既存品の製造条件の見直しよりエネ
ルギー使用量を削減)
…'24/3期下期より採用

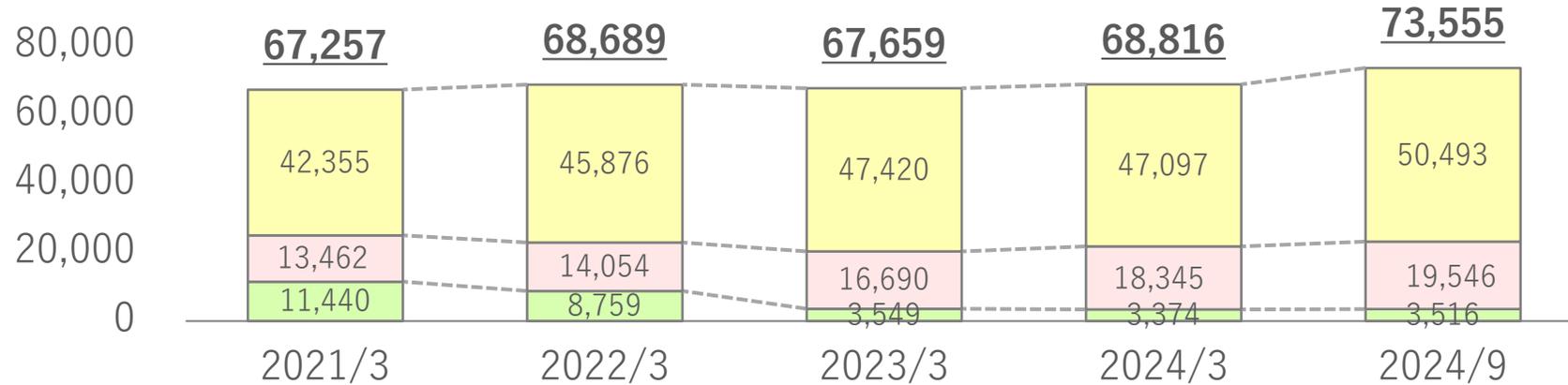
新製品のカウント期間は、販売後3年間。

■ 連結貸借対照表（要旨）の推移

資産の部

(百万円)
100,000

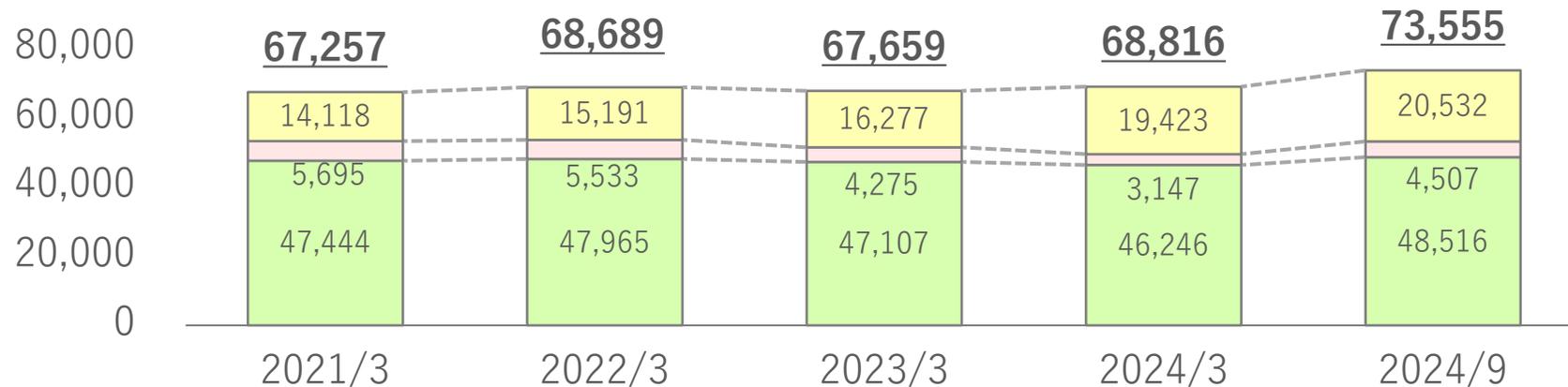
■ 投資・他資産 ■ 固定資産 ■ 流動資産



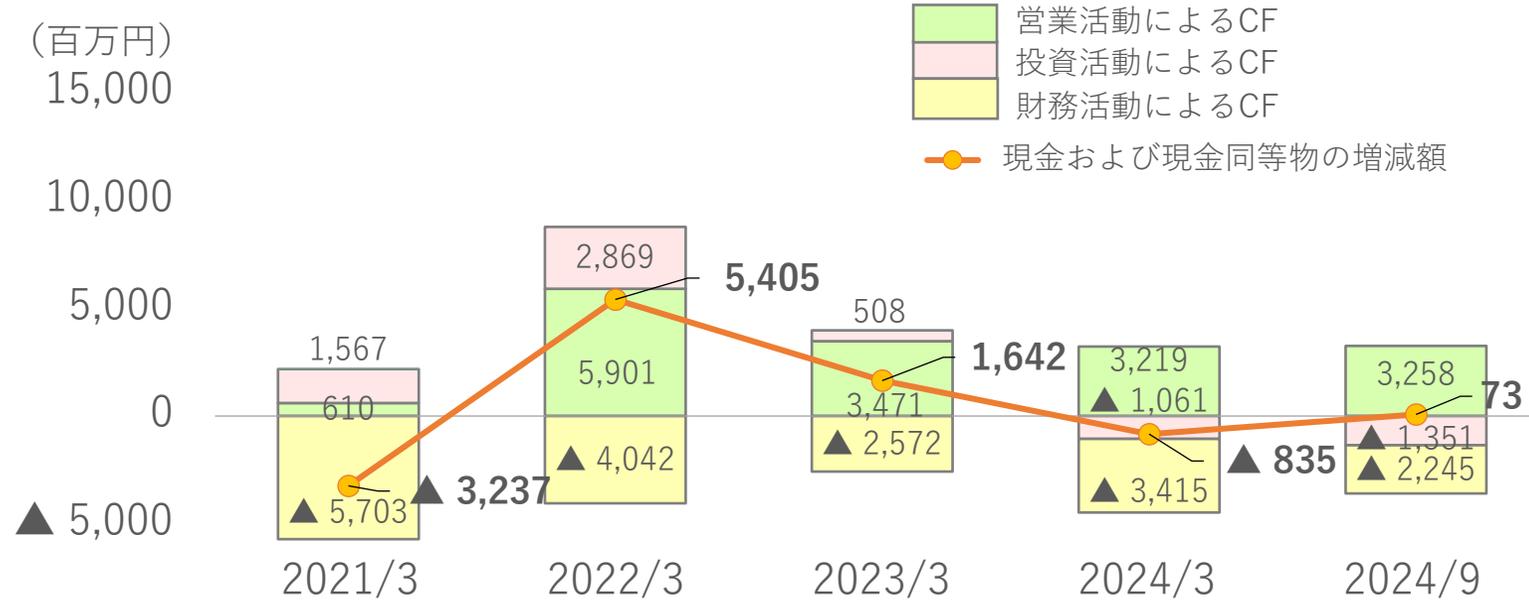
負債・純資産の部

(百万円)
100,000

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債

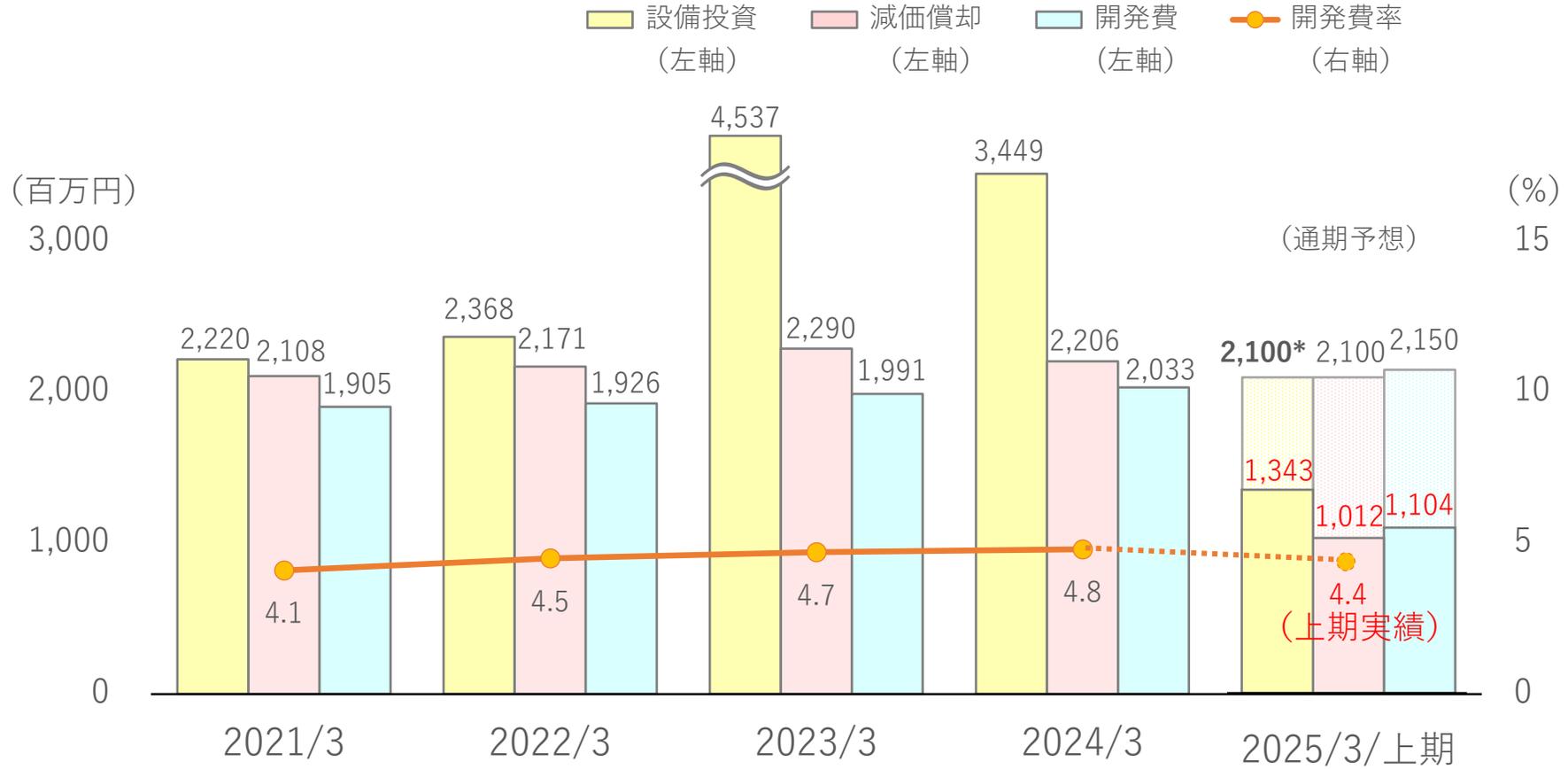


■ 連結キャッシュフローの推移



	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2024/9
営業活動によるCF	610	5,901	3,471	3,219	3,258
法人税等の支払または還付 (▲は支払)	▲4,970	889	▲1,588	▲1,016	34
投資活動によるCF	1,567	2,869	508	▲1,061	▲1,351
有形・無形固定資産の取得による支出	▲1,983	▲2,007	▲4,375	▲3,779	▲1,353
投資有価証券の売却による収入	4,938	3,235	6,411	1,087	2
財務活動によるCF	▲5,703	▲4,042	▲2,572	▲3,415	▲2,245
配当金の支払	▲995	▲1,463	▲3,000	▲3,641	▲1,327
自己株式の取得による支出		▲82	▲748		
ThinFlexの完全子会社化による支出	▲4,324	▲2,439			

■ 設備投資・減価償却費・開発費の推移



* 2025年3月期の設備投資／通期予想金額：5月9日発表の中期経営計画では7,100としていたが、イノベーションセンター竣工が2025年7月に遅延することになったため2,100に変更した

本資料は、株式会社有沢製作所（以下当社）による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料およびその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利もしくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、あるいは本資料作成時点における実勢および当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。